

## 腎機能低下者などにおける急性脳症の発生について

腎機能低下者などにおける急性脳症疑いの症例の発生については、以前より新潟県、山形県、秋田県、福島県、石川県、宮城県においての発生が報道されてきました。本日18時現在の当省で把握しております症例について別紙のようにご報告いたします。

なお、これにつきましては本日、別紙のように新潟県、秋田県より発表されています。

## 「急性脳症」事例にかかる状況リスト

	公表日	症例数	腎機能障害	スギヒラタケ 摂取	死亡例
新潟県	10月21日 (木)	13	13	13	4
山形県	10月21日 (木)	5	5	4	2
秋田県	10月22日 (金)	18	17	15	6
福島県	10月25日 (月)	1	1	1	0
石川県	10月26日 (火)	1	1	1	0
宮城県	10月26日 (火)	1	1	1	0
合計		39	38	35	12

※ 公表日は、自治体が最初に今回の事例の公表を行った日。

※ 症例数等は、公表日以降の追加情報を加えた数値。

※ スギヒラタケの摂取は、現在確認がとれた者の数。

平成16年10月27日  
午後4時現在  
福祉保健部健康対策課

急性脳症疑い症例について（第七報）

◎ 10月21日に公表した標記について、本で行った対応等は次のとおりです。

○ 患者調査

- ・ 関係保健所において、調査票に基づき引き続き患者調査を実施、調査票を回収中。
- ・ これまでに同様の症状を呈する事例として医療機関から情報提供のあった6例について、検討の結果、次のとおり区分することとした。

疑い症例に追加する 2例

- ・ 新津健康福祉環境事務所管内50代女性
- ・ 上越地域振興局健康福祉環境部管内70代男性

※2例ともに腎機能低下、スギヒラタケの摂取あり

疑い症例に追加しない 1例

引き続き詳細を確認する 3例

※ この結果、疑い症例は合計13例とした。

◎ これまでの症例に関する情報（10月27日正午現在）

退院：1名（軽快し転院）

入院中：8名

死亡：4名（既報）

◎ 同様の症状を呈する事例に関する医療機関からの情報提供は本日0件、合計6件あり。（6件の検討結果は上記に記載のとおり）

◎ 専用相談窓口の相談件数（本日分）

0件

本件に関する問い合わせ先

（ 福祉保健部健康対策課 石上課長（内線2650） ）

急性脳炎の発生について（第4報）

平成16年10月27日  
健康対策課疾病対策班  
TEL 018-860-1424

1. 届出

平成16年10月27日、次のとおり感染症法に基づく急性脳炎の届出がありました。

○本荘市内の医療機関から本荘保健所への届出

届出		急性脳炎
患者 17	患者	80歳代・女性
	症状	意識障害等
	発病	平成16年9月下旬
	現在の状況	死亡
	調査状況	腎不全患者、スギヒラタケ摂食

○能代市内の医療機関から能代保健所への届出

届出		急性脳炎（疑い）
患者 18	患者	60歳代・女性
	症状	けいれん、意識障害等
	発病	平成16年9月下旬
	現在の状況	死亡
	調査状況	透析患者、スギヒラタケ摂食

2. 県の対応

- (1) 腎機能の低下している方は、当面の間スギヒラタケの摂食を控えるよう注意喚起を行っています。（10月22日～）
- (2) 医療機関に対し、急性脳炎（疑いを含む）と診断した場合には、感染症法に基づき届出を行うよう通知しました。（10月22日付け健康福祉部長通知）
- (3) 医療機関、県腎臓病患者連絡協議会に対し、腎機能の低下している方は、スギヒラタケの摂食を当面控えることを指導するよう通知しました。（10月23日付け健康福祉部長通知）
- (4) 医療機関に対し、急性脳炎（疑いを含む）の届出をした患者の検体確保を依頼しました。（10月26日付け健康福祉部長通知）
- (5) 厚生労働省及び国立感染症研究所と連携を図り、保健所において疫学調査等を行っています。

3. 今後の対応

県では、厚生労働省及び国立感染症研究所と連携を図り、原因を究明するため引き続き保健所において調査するとともに、次の検査等を実施します。

- (1) 各研究所において、検査を実施します。

- ① 患者検体について、衛生科学研究所及び国立感染症研究所において、次の検査を実施します。

（検体）

- ・ ずい液
- ・ 血清
- ・ 便

（検査項目）

- ・ ウイルス検査
- ・ 細菌検査 等

- ② 県内で採取されたスギヒラタケについて、衛生科学研究所及び国立医薬品食品衛生研究所において、次の検査を実施します。

（検査項目）

- ・ 農薬検査
- ・ 重金属検査
- ・ 成分検査
- ・ 化学物質検査 等

- (2) 国立感染症研究所の疫学調査等の専門家による疫学調査等結果の分析を実施します。

#### 4. 県民の皆様へ

- 現時点では原因の究明には至っておりませんが、患者に共通する事項として腎機能の低下及びスギヒラタケの摂食が認められています。  
腎機能の低下している方は、スギヒラタケの摂食を当面控えるようお願いします。
- 医療機関においては、急性脳炎症状を呈する患者（疑う例を含む）を診断した場合は、最寄りの保健所まで感染症法に基づく届出をお願いします。

#### (参 考)

これまでの届出状況（本日分を含む）

- (1) 届出のあった患者数 : 18名（うち人工透析16名、腎不全1名）
  - 確定例 6名（全員スギヒラタケを摂食）
  - 疑い例 12名（うち9名がスギヒラタケを摂食）
- (2) 死亡者数 : 6名
  - 確定例 2名（両名ともスギヒラタケを摂食）
  - 疑い例 4名（うち3名がスギヒラタケを摂食）
- (3) 届出状況一覧 : 別紙のとおり

(別紙)

## 届出状況一覧(本日分を含む)

	届出日	届出医療機関	届出	年齢	性別	症状	発病時期	現在の状況	調査状況
1	H16.10.22	大曲市内	急性脳炎(疑い)	60歳代	男性	全身けいれん、意識障害等	平成16年9月中旬	死亡	透析患者 スキビラック摂取
2	H16.10.22	大曲市内	急性脳炎(疑い)	70歳代	女性	全身けいれん、昏睡、高熱等	平成16年9月下旬	入院治療中	透析患者 スキビラック摂取
3	H16.10.22	大曲市内	急性脳性(疑い)	40歳代	女性	全身けいれん、昏睡等	平成16年9月下旬	死亡	透析患者 スキビラック摂取なし
4	H16.10.22	本荘市内	急性脳炎	50歳代	女性	意識障害、発熱等	平成16年10月上旬	入院治療中	透析患者 スキビラック摂取
5	H16.10.23	秋田市内	急性脳炎	60歳代	女性	全身けいれん等	平成16年9月下旬	入院治療中	透析患者 スキビラック摂取
6	H16.10.23	横手市内	急性脳炎(疑い)	60歳代	男性	全身けいれん、麻痺等	平成16年9月下旬	入院治療中	透析患者 スキビラック摂取
7	H16.10.23	秋田市内	急性脳炎	60歳代	男性	発熱、意識障害等	平成16年10月上旬	入院治療中	透析患者 スキビラック摂取
8	H16.10.25	能代市内	急性脳炎	70歳代	男性	全身けいれん、意識障害等	平成16年9月下旬	入院治療中	透析患者 スキビラック摂取
9	H16.10.25	秋田市内	急性脳炎	70歳代	女性	意識障害、けいれん等	平成16年9月下旬	死亡	透析患者 スキビラック摂取
10	H16.10.25	秋田市内	急性脳炎(疑い)	50歳代	男性	けいれん発作等	平成16年10月上旬	入院治療中	透析患者 スキビラック摂取
11	H16.10.25	秋田市内	急性脳炎(疑い)	50歳代	女性	意識障害、けいれん重複等	平成16年9月下旬	入院治療中	透析患者 スキビラック摂取
12	H16.10.25	秋田市内	急性脳炎(疑い)	60歳代	男性	けいれん、意識障害等	平成16年9月下旬	入院治療中	透析患者 スキビラック未確定
13	H16.10.25	秋田市内	急性脳炎(疑い)	60歳代	女性	意識障害、全身けいれん等	平成16年10月中旬	入院治療中	透析患者 スキビラック摂取
14	H16.10.25	秋田市内	急性脳炎(疑い)	90歳代	女性	意識障害、けいれん等	平成16年9月下旬	入院治療中	腎疾患なし スキビラック未確定
15	H16.10.25	本荘市内	急性脳炎(疑い)	60歳代	男性	意識消失、けいれん発作等	平成16年9月下旬	死亡	透析患者 スキビラック摂取
16	H16.10.25	大曲市内	急性脳炎(疑い)	70歳代	男性	発熱、意識障害等	平成16年10月中旬	10月中旬 退院	透析患者 スキビラック摂取
17	H16.10.27	本荘市内	急性脳炎	80歳代	女性	意識障害等	平成16年9月下旬	死亡	腎不全患者 スキビラック摂取
18	H16.10.27	能代市内	急性脳炎(疑い)	60歳代	女性	けいれん、意識障害等	平成16年9月下旬	死亡	透析患者 スキビラック摂取